

一 般 教 育 訓 練 明 示 書 (様 式 例)

講座の名称	看護学研究科看護学専攻(博士前期課程)				
実施方法	① 通学 昼間 夜間・土日) ② 通信 スクーリング(回数 回)				
指定講座番号(15桁)	1022001	—	2310012	—	9
講座の創設年月日	一般教育訓練給付金対象 講座の指定期間 平成21年4月1日	過去一 年の講 座実 績 令和8年3月31日まで	入講者数(累積) (4人)	修了者数 (4人)	
訓練期間	24ヶ月		総訓練時間	660時間～840時間	
1. 教育訓練目標					
①取得目標とする資格の名称、目標レベル		修士(看護学)			
②①に係る資格・試験等の実施機関名称		群馬県立県民健康科学大学大学院			
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等		本研究科に2年以上在籍し、所定の単位(32単位以上)を修得するとともに、必要な研究指導を受けたうえで、修士論文の審査及び最終試験(口頭試験)に合格すること。			
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況		看護師			
2. 教育訓練の内容					
教科 (カリキュラム)			時間	使用教材名	
別紙のとおり					
3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)					
①受講するに当たって必要な実務経験等		社会人特別選抜に関しては、保健・医療・福祉施設、教育研究機関、官公庁又は企業において、専門的な実務経験が必要。			
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準		大学を卒業した者又は大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者他。			
③その他					

一般教育訓練明示書(様式例)

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1) 資格取得状況

① 前年度内の受講修了者数	4	人			
② ①のうち目標資格の受験者数	4	人	受験率(②/①)	100.0	%
③ ②のうち合格者数	4	人	合格率(③/②)	100.0	%
④ 上記②・③の回答者数	4	人			

(2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数		0	人		
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員		人	②A: 就業者計	
	2 非正社員、派遣社員		人		
	3 その他の就業(自営業等)		人		
	4 非就業		人	②B: 非就業者計	
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ		人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる		人		
	3 社内外の評価が高まる		人		
	4 円滑な転職に役立つ		人		
	5 趣味・教養に役立つ		人		
	6 その他の効果		人		
	7 特に効果はない		人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる		人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 希望の職種・業界で就職できる		人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる		人		
	4 趣味・教養に役立つ		人		
	5 その他の効果		人		
	6 特に効果はない		人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した		人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した		人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した		人		
	4 就職していない		人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足		人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	
	2 おおむね満足		人		
	3 どちらとも言えない		人		
	4 やや不満		人		
	5 大いに不満		人		

(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)

5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	卒業単位を満たし卒業試験合格
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	

6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法

出席率その他、試験合格率得点率60%以上で合格、補講・追試は認める。

一般教育訓練明示書（様式例）

7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法			
(1)受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	指導教員が個々の大学院生に対し、授業の履修計画や研究計画についての助言・指導を行う。		
(2)受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例:資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	指導教員は、学生の希望する研究に対し、履修計画の助言や修士論文作成に係る助言や指導を行う。		
8. その他の事項			
指定教育訓練実施者名及び代表者名	群馬県公立大学法人 (代表者名: 理事長 高田 邦昭)		
住所及び連絡先	群馬県佐波郡玉村町大字上之手1395-1	TEL	0270-65-8511
施設名称及び施設長名	群馬県立県民健康科学大学大学院		(施設長: 学長 柏倉 健一)
住所及び連絡先	群馬県前橋市上沖町323-1	TEL	027-235-1211
給付制度担当部署・者	事務局教務係 (担当者: 内田 康子)		
連絡先	TEL 027-235-1244		
一般教育訓練経費	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②) 817,800 円		
支払い方法	① 入学料 (税込額) 282,000 円 (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)		
① 一括払			
② 分割払	② 受講料 (税込額) 535,800 円 (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。) (うち、必須教材費 0 円)		
③ 両方可能			
	2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④) 0 円		
	① 副読本代(税込額) 0 円		
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額) 0 円		
	③ 施設維持費(税込額) 0 円		
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額) 0 円		
	3. 総額 (1+2) (税込額) 817,800 円		

〔特記事項〕

入学料について、県内者は、141,000円に割引。

看護学研究科・博士前期課程

リサーチコース

科目区分	授業科目の名称	単位数			時間
		必修	選択	自由	
共通科目	看護学研究方法論Ⅰ(研究過程と研究方法の理解)		2		30
	看護学研究方法論Ⅱ(研究批評と研究成果の活用)		2		30
	専門職教育展開論Ⅰ(カリキュラム編成の基礎)		2		30
	専門職教育展開論Ⅱ(カリキュラム編成の実際)		2		30
	研究と倫理		2		30
	教育と倫理		2		30
	看護政策管理論		2		30
	診療放射線学特論			2	30
	研究方法論と基礎統計学			2	30
	放射線画像解剖学特論			2	30
	放射線学シミュレータ特論			2	30
	保健医療特論			2	30
	保健医療安全学特論			2	30
専門科目	実践看護学構築論Ⅰ(看護理論と看護実践)		2		30
	実践看護学構築論Ⅱ(看護学の革新と看護研究)		2		30
	看護学演習(実践看護学展開論)		8		120
	看護教育学Ⅰ(看護教育学の基礎知識)		2		30
	看護教育学Ⅱ(看護教育学を支える理論と知識)		2		30
	看護学演習(看護教育学研究)		8		120
特別研究	特別研究	12			360

看護学研究科・博士前期課程

看護管理者キャリア開発

科目区分	授業科目の名称	単位数			時間
		必修	選択	自由	
共通科目	看護学研究方法論Ⅰ(研究過程と研究方法の理解)		2		30
	看護学研究方法論Ⅱ(研究批評と研究成果の活用)		2		30
	専門職教育展開論Ⅰ(カリキュラム編成の基礎)		2		30
	専門職教育展開論Ⅱ(カリキュラム編成の実際)		2		30
	研究と倫理		2		30
	教育と倫理		2		30
	看護政策管理論	2			30
	診療放射線学特論			2	30
	研究方法論と基礎統計学			2	30
	放射線画像解剖学特論			2	30
	放射線学シミュレータ特論			2	30
	保健医療特論			2	30
	保健医療安全学特論			2	30
専門科目	実践看護学	実践看護学構築論Ⅰ(看護理論と看護実践)	2		30
		実践看護学構築論Ⅱ(看護学の革新と看護研究)		2	30
		看護学演習(実践看護学展開論)		8	120
		看護政策管理学展開論Ⅰ(基礎知識と理論)	4		60
		看護政策管理学展開論Ⅱ(看護学の革新と看護研究)	2		60
		看護政策管理学展開論Ⅲ(課題発見実習)	4		120
	看護教育学	看護教育学Ⅰ(看護教育学の基礎知識)		2	30
		看護教育学Ⅱ(看護教育学を支える理論と知識)		2	30
		教育実践演習Ⅰ		2	30
		教育実践演習Ⅱ		4	60
		課題発見実習		4	120
課題研究	課題研究	12			360

看護学研究科・博士前期課程

コミュニティ看護実践者キャリア開発

科目区分	授業科目の名称	単位数			時間	
		必修	選択	自由		
共通科目	看護学研究方法論Ⅰ(研究過程と研究方法の理解)		2		30	
	看護学研究方法論Ⅱ(研究批評と研究成果の活用)		2		30	
	専門職教育展開論Ⅰ(カリキュラム編成の基礎)		2		30	
	専門職教育展開論Ⅱ(カリキュラム編成の実際)		2		30	
	研究と倫理		2		30	
	教育と倫理		2		30	
	看護政策管理論		2		30	
	診療放射線学特論			2	30	
	研究方法論と基礎統計学			2	30	
	放射線画像解剖学特論			2	30	
	放射線学シミュレータ特論			2	30	
	保健医療特論			2	30	
	保健医療安全学特論			2	30	
	専門科目	実践看護学	実践看護学構築論Ⅰ(看護理論と看護実践)		2	
実践看護学構築論Ⅱ(看護学の革新と看護研究)				2		30
看護学演習(実践看護学展開論)				8		120
コミュニティ看護実践論			2			30
コミュニティ看護展開論Ⅰ(課題発見と実践計画)			4			120
コミュニティ看護展開論Ⅱ(課題解決)			4			120
コミュニティ看護展開論Ⅲ(データ分析方法論)			4			120
看護教育学		看護教育学Ⅰ(看護教育学の基礎知識)		2		30
		看護教育学Ⅱ(看護教育学を支える理論と知識)		2		30
		教育実践演習Ⅰ		2		30
		教育実践演習Ⅱ		4		60
		課題発見実習		4		120
課題研究		課題研究	12			360

科目区分	授業科目の名称	単位数			時間	
		必修	選択	自由		
共通科目	看護学研究方法論Ⅰ(研究過程と研究方法の理解)		2		30	
	看護学研究方法論Ⅱ(研究批評と研究成果の活用)		2		30	
	専門職教育展開論Ⅰ(カリキュラム編成の基礎)		2		30	
	専門職教育展開論Ⅱ(カリキュラム編成の実際)		2		30	
	研究と倫理		2		30	
	教育と倫理		2		30	
	看護政策管理論		2		30	
	診療放射線学特論			2	30	
	研究方法論と基礎統計学			2	30	
	放射線画像解剖学特論			2	30	
	放射線学シミュレータ特論			2	30	
	保健医療特論			2	30	
	保健医療安全学特論			2	30	
専門科目	実践看護学	実践看護学構築論Ⅰ(看護理論と看護実践)		2		30
		実践看護学構築論Ⅱ(看護学の革新と看護研究)		2		30
		看護学演習(実践看護学展開論)		8		120
	看護教育学	看護教育学Ⅰ(看護教育学の基礎知識)	2			30
		看護教育学Ⅱ(看護教育学を支える理論と知識)	2			30
		教育実践演習Ⅰ	2			30
		教育実践演習Ⅱ	4			60
		課題発見実習	4			120
		課題研究	12			360
講習会修了要件充足科目	情報と教育			1	15	
	教育の原理			1	15	
	教育評価論			1	15	
	看護の本質と専門性			2	30	
	看護学教育課程論Ⅰ(カリキュラム編成の基礎)			1	15	
	看護学教育課程論Ⅱ(カリキュラム構造の理解)			2	30	
	看護学教育課程論Ⅲ(カリキュラム編成の実際)			5	135	
	看護学教育評価論			2	45	
	看護学教育研究(研究成果の活用)			2	45	
	看護学教育組織運営論			1	15	